

モニタリング結果報告書

施設 設 : 県立塚山公園

指定管理者 : 財団法人神奈川県公園協会・県立塚山公園保存会

施設所管課 : 横須賀土木事務所

(平成22年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
10月	11月10日	12月13日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認
11月	12月10日	1月17日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認
12月	1月7日	2月16日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認
1月	2月8日	3月15日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認
2月	3月17日	4月28日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認
3月	4月8日	5月17日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認

2 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る B: 提案どおり C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

< 提案内容の概要 >

① さくら祭・三浦按針祭観楼祭。

桜祭り期間内に三浦按針関係者(外国の要人含む)が集って年中行事。

② 鹿島神社祭礼神輿渡り

③ 初日会(1月元旦)

④ 自然観察会(年4回実施)

山野草の保護を目的とした園内管理を行うと共に自然観察会の実施。

⑤ その他

< 実施状況 >

① さくら祭・三浦按針祭観楼祭。

横須賀市主催の観楼祭であるが、会場の設営や整備、山野草育成等を行っている。祭りでは、地元町内会の、歌や踊りが披露された。

② 鹿島神社祭礼神輿渡り

公園内の園路を巡行するため、園内パトロールの強化・清掃や植物管理等整備を行った。

③ 初日会(1月元旦)

園内の展望台より東京湾上に登る初日を楽しみに周辺住民が集う。会場の整備や案内を行った。300人余りの参加者があった。

④ 自然観察会(年4回実施)

山野草の観察会やバードウォッチングを5/22、10/23、1/22の3回実施した。3/27に予定していた4回目のバードウォッチングについては震災の影響により自粛。平成23年度も継続してイベントを行う。

⑤ その他。

他団体からの寄贈による、さくらの植樹祭や、ボランティアと花壇植え付けを行った。

(継続用紙)

< 提案内容の概要（今後実施予定のもの） >

・利用促進のためのイベントの開催について。地域と連携・協働した四季の彩りの美しさを楽しむ行事の開催による人との交流の輪の拡大。

- ①ビューポイント観察会（年1回実施）
- ②塚山公園を拠点とする3世代ハイキング（年1回実施）

< 実施状況（今後実施予定のもの） >

- ①ビューポイント観察会（年1回実施）

平成22年度は、イベント計画や内容を策定中。平成23年度以降に実施を検討する。

- ②塚山公園を拠点とする3世代ハイキング（年1回実施）

平成22年度は、イベント計画や内容を策定中。平成23年度以降に実施を検討する。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額			支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額) その他収入		
年間予算額	13,900	13,900	0	13,900	0
上半期計 (a)	7,335	7,335	0	6,455	880
下半期計 (b)	6,565	6,565	0	7,312	△747
10月	1,212	1,212	()	1,158	54
11月	1,084	1,084	()	1,471	△387
12月	1,045	1,045	()	1,023	22
1月	1,369	1,369	()	830	539
2月	797	797	()	1,200	△403
3月	1,058	1,058	()	1,630	△572
合計 (a+b)	13,900	13,900	0	13,770	130

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

年間の収支計画については、ほぼ計画通り行った。11月は、台風等の強風に備え危険木の剪定等を実施したことにより支出増となった。1月・2月については、園内の法面修理や清掃業務をまとめて委託することにより、支出を抑え、3月は、老朽化した分電盤やグレーチングの補修を実施したことにより支出増となった。

(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況	「特になし」	
支出の状況	「特になし」	
積立等の状況	「特になし」	(期首)
		(期末)

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	25,037 人	21,470 人	16.6%
下半期計 (b)	12,967 人	15,390 人	△15.7%
10月	1,963 人	1,915 人	2.5%
11月	2,309 人	2,160 人	6.9%
12月	1,415 人	2,003 人	△29.4%
1月	2,485 人	2,750 人	△9.6%
2月	2,460 人	1,672 人	47.1%
3月	2,335 人	4,890 人	△52.2%
合計 (a+b)	38,004 人	36,860 人	3.1%

利用状況に関する意見等

- 〔半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。〕
- ・12月の減少は、雨天が多かったことが原因だと思われる。
 - ・2月の来園者増は、「三浦桜針」の歴史ブームや「歩け歩け会員」等のウォーキングを楽しむ来園者が多かった。
 - ・3月の大幅減は、東日本大震災の影響によるものと考えられる。

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
月						
月						
月						
月						
月						
月						

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
月			
月			
月			
月			
月			
月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

- 〔類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・「特になし」	
職員対応	・「特になし」	
事業内容	・「特になし」	
その他	・「特になし」	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	「特になし」
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		「特になし」	
月 日			

9 下半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管 理者	<p>里山的な公園の特徴を生かすべく、山野草の保護を目的とした園内管理を行うと共に自然観察会を実施して多くのリピーターが来園した。また、桜の名所を維持すべくテングス病枝剪定や施肥を行い、危険な老木の伐採や若木への更新も実施している。今後も、自然豊かな里山的な園内の動植物の保護育成と園内にある歴史遺産である「三浦按針」の歴史を来園者に伝えていきたい。</p>
施設所 管課	<p>塚山公園の特性を活かし、園内の山野草の保護・補植・育成が適正に図られている。管理面積をそのまま除草を行うだけでなく、遠景が望めるよう眺望の確保、園内随所にある山野草を大切に扱うことで、新たに発芽する山野草もある。桜は有名であるが同時期にニリンソウ(二輪草)群生地やミツバツツジも開花。</p> <p>利用促進としては、自然観察会・冬の「バードウォッチング」を開催し、15種の野鳥を観察。元旦には見晴台から見られる初日の出に約300名の方が訪れた。他団体からの寄贈による、さくらの植樹祭や、各ボランティアと花壇植え付けを行った。塚山公園保存会の方の臨時作業は毎月2回程度行い、園内のパトロールや安全管理を徹底している。</p> <p>今後の課題は、未実施の利用促進事業の実施、サービス向上とノウハウの習得である。</p>